

| | | | |
|------|-----------------------|-----|--------------------------|
| 開催日時 | 平成 29 年 10 月 17 日 (火) | 会 場 | (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室 |
|------|-----------------------|-----|--------------------------|

| | |
|------------|---|
| 出席者 (○) | 担当副会長：○大和田優 委員長：○磯 昭弘 委員：○早川慶太 ○米村和夫 ○高野淳一 ○大西智子 ○矢野高 ○小渡佳代子 ○藤井伸介 |
|------------|---|

報告事項

本委員会委員に加え横浜支部の小渡さん 藤井さんに出席いただいたので本委員会の趣旨と業務内容を説明した。

9 月 27 日県との 1 回目の委託業務についての打ち合わせを行ったことについて報告
 今年度の応急仮設住宅配置計画 (例) 委託業務について候補地が決定
 真鶴町、葉山町、三浦市、松田町、愛川町、清川村の 6 地区
 配置計画例作成業務のほかに『配置計画における配慮事項等のあり方の検討』が追加されとことを報告

10 月 16 日災害時住宅対策検討部会大和田担当副会長、磯委員長にて出席したことを報告

議題

(1) 平成 29 年度応急仮設住宅配置計画例作成にあたり各地の担当者決めをおこない以下のように決定した。

真鶴町 米村委員
 葉山町 高野委員
 三浦市 早川委員
 松田町 矢野委員
 愛川町 横浜支部 藤井氏
 清川村 大西委員

(2) 『配置計画における配慮事項等のあり方の検討』について

今年度からの新しい業務であることとスケジュールがタイトであることを踏まえ委員全員で情報収集検討をおこなうこととした。

委員は主に応急仮設住宅のコミュニティー形成に関する資料文献等を 11 月末までに事務局にてアカウントを作成したフォルダにアップロードし、資料をアップロードした委員はその旨を事務局に連絡し委員に周知することによりデータの共有化をはかることとした。

12 月に集まった資料を確認、抽出、担当者割りを行い分析にあたり 1 月の委員会にて報告することに決まった。

(3) 今後のスケジュール

1. 応急仮設配置計画案作成は担当者が調査日に現地調査に向かい報告書を作成提出する

2. 『配置計画における配慮事項等のあり方の検討』は

11 月 30 日委員会にて資料等の確認、担当割り

1 月 9 日委員会にて考察、及び提案を行なう

次回、委員会は 11 月 30 日 15 : 00 から 17 : 00

1 月 9 日 15 : 00 から 17 : 00

以上

| | | | |
|------|-----------------------|-----|--------------------------|
| 開催日時 | 平成 29 年 11 月 30 日 (木) | 会 場 | (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室 |
|------|-----------------------|-----|--------------------------|

| | | |
|------------|----------------------------------|---------|
| 出席者 (○) | 担当副会長：○大和田優 | 書記：磯委員長 |
| | 委員 長：○磯 昭弘 | |
| | 委 員：○早川慶太 ○米村和夫 ○高野淳一 ×大西智子 ○矢野高 | |
| | ○小渡佳代子 ○藤井伸介 | |

報告事項

小渡、藤井両氏が理事会にて正式に当委員会委員になりました。

10 月 27 日県との打ち合わせ内容の報告

「仮設住宅配置計画 (案)」について。

10 月 30 日、31 日の現地調査内容を各地区担当者によって説明をおこなった。

現地調査報告書 (案) と合わせて最終質疑を取りまとめて県に提出し各自治体からの回答を含め配置計画 (案) に反映させることとした。

最終質疑については事務局の OneDrive 専用フォルダにアップロードする。

現地調査報告書 (案) 提出にあたりフォーマットを統一する。

「配置計画における配慮事項のあり方の検討」について。

収集データについて担当者による概要の説明を行った。

12 月 20 日県担当者を交えた意見交換会までの流れについて

コミュニティに関するテーマ、カテゴリーに応じた参照先等をまとめる。

コミュニティ形成に必要な資料、文献を中心にまとめる。

12 月 15 日を目処にコミュニティについてのキーワードを資料、文献にリンクさせたデータを OneDrive 用専用フォルダにアップロードすることとした。

尚、データアップロードの際はその旨を事務局に連絡することとする。

次回議題について

意見交換会を行うにあたり委員会内での意見調整等

次回日程

委員会

12 月 20 日 (水) 14 : 00 ~ 15 : 00

意見交換会 15 : 00 ~ 17 : 00

| | | | |
|------|-----------------------|-----|--------------------------|
| 開催日時 | 平成 29 年 12 月 20 日 (水) | 会 場 | (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室 |
|------|-----------------------|-----|--------------------------|

| | | |
|------------|---|---------|
| 出席者 (○) | 担当副会長：○大和田優 | 書記：磯委員長 |
| | 委員長：○磯 昭弘 | |
| | 委員：○小渡佳代子 ×藤井伸介 ○早川慶太 ○米村和夫 ×高野淳一 ○大西智子 ○矢野高 | |

議題
小渡、早川両委員よりアップロードされたデータについて両氏より説明。
15:00 から行われる県担当者を交えた意見交換会に向けての委員会内の意見調整。
本日出席した委員にて文献、データ収集を進めてきた過程にて感じた今後進めるべき方向性等について
考察を述べ合い調整した。

次回議題

応急仮設住宅配置計画 (案)
各地担当者より提出された計画案の確認。

「配置計画における配慮事項等のあり方検討」
抽出されたキーワード等の分析、選択等

次回委員会日程

平成 30 年 1 月 9 日 (火) 15:00~17:00 事務所協会 2 階会議室

| | | | |
|------|---------------------|-----|--------------------------|
| 開催日時 | 平成 30 年 1 月 9 日 (火) | 会 場 | (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室 |
|------|---------------------|-----|--------------------------|

| | |
|------------|--|
| 出席者 (○) | 担当副会長：○大和田優 委員長：○磯 昭弘 委員：○早川慶太 ○米村和夫 ○高野淳一 ○大西智子 ○矢野高 ○小渡佳代子 ○藤井伸介 |
|------------|--|

「仮設住宅配置計画 (案)」について。

本日までに提出されている各担当地区の応急仮設住配置計画案について担当委員より計画概要の説明を
 してもらい修正点などについて出席委員と共に意見交換を行う。
 今回の配置計画案を県に仮提出する事とした。

「配置計画における配慮事項のあり方の検討」について。

既に提出されているデータのまとめ方について検討。

12 月 20 日に行われた県担当者との意見交換会にて提案された 4 項目 (計画、入居、運用、借上)
 に振り分ける。

提出報告書については委員の負担にならない範囲でまとめる事とした。

カテゴリーからツリー化するのではなく現在集まっている文献等のデータ元を市町村担当者が参照
 できる程度とし、今後の用地選定における参考になるようにする。

小渡委員のエクセルデータをベースに委員内で共有し追加の資料を追記して次回委員会にてまとめる。

次年度の業務委託を見越したボリュームとする。

次回議題について

意見交換会を行うにあたり委員会内での意見調整等

次回日程

委員会

2 月 14 日 (水) 15 : 00 ~ 17 : 00

事務所協会 2 階会議室

追記

次回の県との打合せ日程 1 月 30 日 (火) 13 : 30 ~

| | | | |
|------|----------------------|-----|--------------------------|
| 開催日時 | 平成 30 年 2 月 14 日 (水) | 会 場 | (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室 |
|------|----------------------|-----|--------------------------|

| | |
|------------|--|
| 出席者 (○) | 担当副会長：○大和田優 委員長：○磯 昭弘 委 員：○早川慶太 ○米村 和夫 ×高野淳一 ○大西智子 ×矢野 高 ○小渡佳代子 ○藤井伸介 |
|------------|--|

応急仮設住宅配置計画（例）作成について

チェック用に仮提出していた各地区の現地調査報告書、配置計画例について県よりチェックバックがあった。

- ・ 配置計画（例） 修正
- ・ 現地調査報告書 修正追記（配置計画例作成に当たっての考え・課題等）

各担当者に追記修正を依頼し結果を委員会にて再確認

欠席担当委員には後日連絡。

修正計画案等をまとめ再提出することとした。

「コミュニティ形成」に資する配置計画のあり方の検討について

1 月 30 日に行われた県との打ち合わせに基づいて資料、文献等を分類、まとめを行うこととした。

意見交換会にて県より提案された 4 分類に振り分け資料、文献元の参照先を明記し考察を加える体裁とし考察については小渡委員に依頼した。

「災害時住宅対策マニュアルの内容に関する提案」について

大和田担当副会長に作成して提出してもらえることとなった。

以上の提出物を揃えまとめ次第、納期前に県に一度提出し指示をうけ 3 月 20 日納期に間に合わせるスケジュールとした。

次回委員会日程

平成 30 年 3 月 26 日 15 : 00 ~ 17 : 00

会場 (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室

| | | | |
|------|----------------------|-----|--------------------------|
| 開催日時 | 平成 30 年 3 月 26 日 (月) | 会 場 | (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室 |
|------|----------------------|-----|--------------------------|

| | |
|------------|---|
| 出席者 (○) | 担当副会長：○大和田優 委員長：○磯 昭弘 委員：○早川慶太 ○米村 和夫 ×高野淳一 ○大西智子 ○矢野 高 ○小渡佳代子 ○藤井伸介 |
|------------|---|

応急仮設住宅配置計画例作成業務進捗報告

当委員会にて作成した成果物がまとまり 3 月 28 日が完了検査であることを報告。

1. 担当委員に支払われる業務報酬について

業務報酬支払い内訳を作成し説明。

その中で、本日欠席している高野委員より応急仮設住宅配置計画例作成にあたり今までは担当地域による業務量は一律で算定しているが、担当地域により業務量の格差があるのでその点を考慮して欲しいとの意見があったことを伝え出席している委員の意見を求めた。

その結果、今年度の業務に関しては今まで通り一律で報酬を支払うこととし来年度以降は委託業務の内容を確認の上で改めて委員会内にて検討することとした。

2. 来年度の委員会活動について

来年度は年度の早い時期に県担当者を交えた意見交換会を企画し応急仮設住宅のあり方などについての積極的な提案を進めていくこととした。

米村委員より 6 坪、9 坪、12 坪ありきの配置計画を続ける必要性があるのかとの意見。

他にも以下の様な提案。

グループリビングなどのコミュニティ形成に必要な施設を考慮すること。

各地域の世帯構成などの調査を行い地域の実情に合わせた配置計画を行うこと。

県内市町村の配置計画は今年度で終わる予定ではあるが改めてインフラや周辺施設利用含めた再考察の必要性

上記の様な意見提案を次年度の意見交換会の議題とすることを検討した。

次回委員会日程

県担当者を交えた意見交換会が次回委員会となるので県担当者との日程調整後決定することとした。

| | | | |
|------|----------------------|-----|--------------------------|
| 開催日時 | 平成 30 年 6 月 15 日 (月) | 会 場 | (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室 |
|------|----------------------|-----|--------------------------|

| | |
|------------|---|
| 出席者 (○) | 担当副会長：×大和田優 委員長：○磯 昭弘 委員：○早川慶太 ○米村 和夫 ○高野淳一 ○大西智子 ○矢野 高 ○小渡佳代子 ○藤井伸介 |
|------------|---|

5 月 14 日神奈川県災害対策協定団体意見交換会内容事前打ち合わせについての報告

当初予定していた本日の意見交換会は本年度予定している業務委託に加えないとの申し出が県よりあり 7 月以降に延期になったことを委員に報告。

1. 過去 5 年の成果物の確認

昨年度において応急仮設住宅配置計画例作成業務は完了となった為、過去 5 年間 33 地区の配置計画例の内容確認。

計画例データを委員会で再確認し地域特性などについて話し合った。

2. 今年度の委員会活動について

6 月末には本年度の業務委託内容が決まる事もあり具体的な活動については現段階では示す事はできないが昨年度の業務の進め方における反省点を含め委員会にて作業を進める事とした。

また、成果物の内容が適正な作業量にて作成されるように調整を進めることが必要である事も確認した。

3. 次回委員会活動について

委員会開催時に業務委託内容を委員会にて確認し作業の進め方について話し合い担当等を決めることとした。

次回委員会日程

意見交換会に合わせ事前に次回委員会日程を調整することとした。

| | | | |
|------|----------------------|-----|--------------------------|
| 開催日時 | 平成 30 年 7 月 30 日 (月) | 会 場 | (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室 |
|------|----------------------|-----|--------------------------|

| | |
|------------|--|
| 出席者 (○) | 担当副会長：○大和田優 委員長：○磯 昭弘 副委員長：○早川慶太 委員：×米村和夫 ×高野淳一 ×大西智子 ×矢野 高 ○小渡佳代子 ○藤井伸介 |
|------------|--|

1. 今年度の委託業務内容について説明
 - ・コミュニティに配慮した配置計画のあり方とその設計手法の提案
 - ・協定団体へのヒアリング
 - ・市町村職員向け講習会及びアンケート（講習前と講習後の 2 回）の実施
 - ・報告書のまとめ
2. 委託業務の主な目的
 - ・市町村職員のコミュニティに配慮した配置計画への意識を高める。
 - ・協定団体の経験からコミュニティに配慮した配置計画の課題等を抽出する。
 - ・講習会前に配置設計手法を整理し、具体的な敷地を想定して実施する。
 - ・県のマニュアルにコミュニティに配慮した配置計画を明記していくための準備。
3. 作業スケジュールについて
 - ・協定団体へのヒアリング項目を早急に考える必要がある。
 - ・ヒアリングを受けて、講習会へのアンケート項目を考える。
 - ・ヒアリング、講習会と並行して、コミュニティ型配置の設計手法を詰めていく。
 - ・月 1 回の委員会を開催し、密に話し合いながら作業を進める。
4. 協定団体へのヒアリングについて
 - ・各協定団体の仕様書を開示してもらい、比較してからヒアリング項目を抽出する。
 - ・主なヒアリング項目はコミュニティに配慮した配置計画の経験や提案について。
5. コミュニティ型配置計画という考え方をどう定義するか意見交換
 - ・コミュニティという漠然とした言葉を「助け合う共同体」と捉えて考えるのが良いのではないか。
 - ・単世帯の見守り、声掛け、助け合い、外に出るきっかけづくりが出来たら良いのではないか。
 - ・団地内だけで解決する話ではなく、**周辺施設との連携**やコミュニティバスの運行も重要。
 - ・**エリアマネージメント的視点での配置計画**と定義するのが良いのではないか。
6. 今後の作業
 - ・協定団体の仕様書を共有ドライブに開示し、内容を把握した上でヒアリング項目を各自提案する。
(締切 8 月 20 日まで)
 - ・8 月 3 日の県の災害部会で、講習会に向けてエリアマネージメント的視点での配置計画事例の候補地を募る。

次回委員会：8 月 23 日 (木) 15:00～17:00

| | | | |
|------|----------------------|-----|--------------------------|
| 開催日時 | 平成 30 年 8 月 23 日 (木) | 会 場 | (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室 |
|------|----------------------|-----|--------------------------|

| | |
|------------|--|
| 出席者 (○) | 担当副会長：○大和田優 委員長：○磯 昭弘 副委員長：○早川慶太 委員：○米村和夫 ×高野淳一 ×大西智子 ×矢野 高 ○小渡佳代子 ○藤井伸介 |
|------------|--|

1. 協定団体への事前アンケートについて追記してもらう内容を相談
 - ・県が作成した事前アンケートの内容確認
 - ・コミュニティ施設を配置した事例とその工夫について、仕様書以外の事例があれば提出してもらう。
 - ・周辺施設と連携している事例があれば提出してもらう。
2. 協定団体へのヒアリング意見交換会について
 - ・進行は県が主体に行う予定。
 - ・アンケートの結果を事前にドライブにアップ。各自内容を確認してくる。
 - ・当日（9月5日）は 12:00 に集合し、ヒアリング内容を事前ミーティングする。意見交換会は 13:30 から。
3. 市町村講習会の事前アンケートについて
 - ・協定団体のヒアリング、アンケート内容をもとにして考える。
 - ・アンケート案を 9 月 25 日までにワード形式で各自がドライブにアップする。
 - ・次回委員会（9月27日）のときに、アンケート内容をまとめる。
4. コミュニティに配慮した配置の設計手法について
 - ・単身者のシェアハウス住棟をコミュニティ施設のひとつとして提案してはどうか。
〈メリット〉
 - ・住戸数を確保しつつ、水廻りを集約することで建設費を抑えることができる。
 - ・住棟の共用リビングは広さを確保でき、団地のコミュニティの場にもなりうる。

次回委員会：9月27日（木）15:00～17:00

開催日時 平成 30 年 9 月 27 日 (木) 会 場 (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室

出席者
(○)

担当副会長：○大和田優
委員長：○磯 昭弘
副委員長：○早川慶太
委員：○米村和夫 ×高野淳一 ×大西智子
×矢野 高 ○小渡佳代子 ○藤井伸介

1. 自治体向けアンケート案について

- ・事前に挙げたアンケート項目案（磯、早川）について意見交換。
- ・ハザードマップとの照合を行っているかを加えたほうが良い。
- ・文章で記載してもらいより、選択形式の方が回答し易くて良い。
- ・アンケート項目案を選択形式に直して、後日ドライブにアップする。
- ・上記を各自確認後、問題なければ県に送るということで進める。
- ・アンケートで講習会の配置演習の候補地を募る。

2. 講習会の実施について

- ・過去に実施した講習会の配置演習動画を確認。
- ・今回はコミュニティに配慮した配置計画を実施する。
- ・コミュニティ配慮型の長所、短所、対策を事前にまとめておく必要がある。
- ・平時のコミュニティと災害時のコミュニティについて、違いを認識する必要がある。
- ・災害時に必要なのは、震災関連死、孤独死などをケアするコミュニティ。

3. シェアハウスの実現に向けて

- ・先日の協定団体のヒアリングで、災害救助法に該当するののかという意見があった。
災害救助法では地域の実情によって決めることが出来るとされている。
- ・もともとの単身者に加え、災害によって単身になってしまう人が多数いることが想定される。
そうした人をケアする福祉的な役割と位置づけられるのではないか。
- ・応急仮設住宅は多層階がなぜ出来ないのかという意見も聞く。敷地に制限がある都心の実情を考えると、多層階のシェアハウスというのは合っていると思う。

次回委員会：10月25日（木）15:00～17:00

開催日時 平成 30 年 10 月 25 日 (木) 会 場 (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室

出席者
(○)

担当副会長：○大和田優
委員長：○磯 昭弘
副委員長：○早川慶太
委員：×米村和夫 ×高野淳一 ○大西智子
○矢野 高 ○小渡佳代子 ○藤井伸介

1. 講習会の内容について

- ・福島県のマニュアルに習いながら、神奈川県版のマニュアルを県が考えている。
- ・講習会で使う候補地は県が選定している。
- ・候補地は横浜・川崎、横須賀・三浦、県央、湘南、県西の 5 か所。
- ・進行はレクチャー→これまでの配置例→コミュニティ型の順番行う。
- ・コミュニティ型の配置例について課題などを話し合う。
- ・レクチャーの中で、エリアマネジメント的視点の大切さもふれる。
- ・当日は委員が各テーブルにファシリテーターとして付く。
- ・オブザーバーや助手としての人員が必要。

2. 玄関向い合せ配置（コミュニティ型）について議論

- ・玄関向い合せの効果がどこまであるのか考える必要はある
- ・玄関側というより、庭側を有効なコミュニティスペースを考えてはどうか。
- ・庭側に専用で使えるスペースがあれば、外に出るきっかけにもなる。
- ・従来の住棟間隔 5.5m を通路側 4.5m、庭側 6.5m というように振り分けて、講習会で実践してみて今後の検討課題とする。
- ・玄関向い合せ配置の場合に 6 坪タイプの採光が課題になる。
- ・6 坪タイプで水廻りを片側に寄せた（1365 幅でプランニングする）プランが考えられる。
- ・採光を踏まえた住戸プランの留意点ということでレクチャーに盛り込む必要がある。
- ・演習の中では、6 坪タイプは北側玄関をセオリーとして実践すれば良い。
- ・縁側やベンチなどのシールを用意し、庭側のコミュニティシミュレーションを行う。

3. 今後の準備

- ・候補地が県から届き次第、分担を決めて従前のマニュアルに従った配置例を作成する。
- ・レクチャーに盛り込んだ方が良くと思う内容を今月中に事務局に送る。
- ・11 月 14 日に県と打ち合わせを行う。
- ・次回の委員会で、当日の内容と分担の確認を行う。助手で参加してもらえる人にも出席してもらう。

次回委員会：11 月 22 日（木）15:00～17:00

開催日時 平成 30 年 11 月 22 日 (木) 会 場 (一社) 神奈川県建築士事務所協会 2 階会議室

出席者
(○)

担当副会長：○大和田優
委員長：○磯 昭弘
副委員長：○早川慶太
委員：×米村和夫 ×高野淳一 ○大西智子
×矢野 高 ○小渡佳代子 ○藤井伸介

1. 演習について

- ・各配置計画担当者が、各地区のファシリテーターとして席に着く。
- ・発表者と書記を決める。
- ・現マニュアルに基づき配置計画例を説明する。
- ・コミュニティの方向性を話し合う。

2. 講習会レクチャーの確認

- ・コミュニティの必要性の再確認。
- ・設計手法（考え方）の解説
- ・コミュニティ型は向い合せ配置を基本とする。
- ・軸（南北、東西）は関係ない。
- ・住戸タイプ標準の見直しが今後の課題

3. 講習会に向けての準備

- ・候補地のハザードマップを各自準備する。
- ・候補地の周辺環境、施設がわかる航空写真を準備する。
- ・A1(S=1/500)の現マニュアル配置計画を準備する。
- ・A1(S=1/500)の敷地図（インフラ、アクセス道路は記載）を作成する。

4. 報告書について

- ・講習会の後日、各自治体にアンケートを行う。
- ・上記を含めた 3 つのアンケート（協定団体、自治体の講習会前と講習会后）をまとめて報告書の考察に盛り込む。